

第14回東京都メディカルコントロール協議会 会議録（協議結果）

日時：平成29年3月7日（火）18時00分から20時00分まで

場所：東京消防庁本部庁舎 7階特別会議室

出席：出席委員22名（代理含む）、欠席委員3名

1 開会

本日の会議は審議事案について傷病者の個人情報に触れる部分を扱うため、会議は非公開とする。

2 委員紹介等

3 議題

(1) 事後検証委員会報告

救急活動に対する医学的観点からの事後検証について、以下の協議結果が報告され、総意を得た。

ア 覚知と同時の東京DMAT運用の検討に係る報告について

(ア) 途中引揚げや活動不従事が多くなってきている現状を踏まえ、要請基準を拡大解釈し、キーワードを組み合わせた早期要請、早期出場を試行していく。

(イ) 今後も東京DMAT事務局である東京都福祉保健局と相互に連携し、検証、見直しを図っていく。

イ 火災現場における社会死の判断基準について

(ア) 社会死判断基準の中に、火災の火炎によるCPA傷病者に特化した記載を設けることは、医学的に問題はない。

(イ) 東京都MC協議会の判断で総務省消防庁から通知されている社会死判断基準を拡大解釈し運用することの法的問題を確認し、救急隊指導医に助言を得れば、問題はない。

ウ 報道発表となった救急事案について

事案の概要、救急活動概要、消防機関の対応について報告された。

エ 救急救命士処置拡大二行為（血糖測定と低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与、心肺機能停止前の静脈路確保と輸液の実施）に係る事後検証について

平成27年10月1日から平成28年9月30日までの東京消防庁における救急救命士処置拡大二行為に係る事後検証について報告された。

オ 気管挿管、薬剤投与の実施及びAEDの使用状況について

平成27年10月1日から平成28年9月30日までの各消防本部における気管挿管、薬剤投与の実施及びAEDの使用状況等について報告された。

(2) 指示指導医委員会報告

救急活動を行う救急救命士に対する指示体制並びに救急隊員に対する指導及び助言体制について、以下の協議結果が報告され、総意を得た。

ア 平成28年中の救急隊指導医指示・助言状況について

- (ア) 平成28年度救急隊指導医制度参画医療機関及び委嘱医師数について報告された。
- (イ) 各消防本部の指示・助言状況の推移について報告された。
- イ 平成28年度救急隊指導医研修の実施結果について
平成28年度救急隊指導医研修の実施結果について報告された。
- (3) 救急処置基準委員会
救急処置基準等の策定について、以下の協議結果が報告され、総意を得た。
 - ア 蘇生ガイドライン改正に伴う救急活動基準の見直しワーキンググループからの附議事項
 - (ア) 「除細動プロトコール」の見直しについて
見直しにあたり、初期波形VF/VTを呈した傷病者について、医学的観点から救命できる可能性が高いことから、「救命効果の向上」、如いては「社会復帰を目指した神経学的転帰良好」を目標とし、改正を図る。
 - (イ) 「薬剤投与（アドレナリン）プロトコール」の見直しについて
初期波形が無脈性電気活動及び心静止（目撃あり）を呈する傷病者については、有効な初期波形のみを薬剤投与の対象とする。
 - (ウ) 「異物除去プロトコール」の見直しについて
異物除去手順について現行2つのプロトコール（反応あり／反応なし）を1つにし、整理する。
 - (エ) 「重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液」の見直しについて
重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液について、クラッシュ症候群及び重症熱中症の可能性が強く疑われる場合について、実施時機の3要件（①救出活動等により救出に時間を要する場合、②車内収容時に搬送先医療機関が未決定の場合、③現場出発から搬送先医療機関まで概ね20分以上を要する場合）によらずに実施する。
 - イ 事後検証委員会からの付議事項
「火災現場における社会死の判断基準」の見直しについて
社会死の判断基準において、火災現場における火炎によるCPA傷病者の受傷状況から、社会通念上死亡と判断できるものとする。
- (4) 救急隊員の教育に関する委員会
救急隊員に対する教育等について、以下の協議結果が報告され、総意を得た。
 - ア 指導救命士に関すること
東京都メディカルコントロール協議会において、認定基準を定めて、指導救命士を認定する。
 - イ ビデオ喉頭鏡の導入に関すること
ビデオ喉頭鏡の使用については、国の通知により、所定の講習（7時間）及び病院実習（5症例）を修了した救急救命士に使用が認められていることから、東京都メディカルコントロール協議会におけるビデオ喉頭鏡導入に伴う所定の講習は1

4時間とする。

ウ 処置拡大（低血糖・ショック）研修の実施状況について

平成28年度養成人員、認定者数及び運用状況（平成28年10月1日現在）、処置実施状況（平成26年4月1日～平成28年9月30日）について報告された。

エ 薬剤投与プロトコール確認試験の実施状況について

民間救急救命士養成施設卒業者を対象に、救急救命士就業前研修の時期に実施しているプロトコール確認試験（筆記・実技）の実施状況について報告された。

オ 気管挿管病院実習選抜試験の実施状況等について

平成28年度養成人員、認定者数及び運用状況（平成28年10月1日現在）について報告された。

4 報告

東京都における平成28年中の救急活動について

各消防本部における平成28年中の救急出場件数等について報告された。

5 その他

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会について

東京都メディカルコントロール協議会事務局よりオリンピック・パラリンピック過去大会における救急車の運用状況について報告された。

(2) 外部機関からの実証研究への参加提案について

東京都メディカルコントロール協議会は、東京慈恵会医科大学より付議された研究事業「救急車と救急病院をタブレットによる傷病者の情報共有の有用性検証プロジェクト」への参加提案について、東京消防庁管内での実証研究実施は適さず、不採択とするとの総意を得た。

6 閉会

以上